

授業シラバス

2026年4月1日作成

科目名	衛生管理Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	森 裕志
学科・コース	専門課程美容科	授業形態	講義	開講区分	前期・後期	時間数 単位	30 時間 1 単位
【授業概要】							
<p>前期で個の健康を守るための公衆衛生および環境衛生の重要性とそれに対する美容業従事者の役割を学ぶ。後期は病原微生物の基礎および感染症の種類を知り、美容業における感染防止策の概要を学ぶ。これを通じて2年次で学ぶ感染症防止の具体策への理解を深める。</p>							
【授業の達成目標】							
<p>公衆衛生・環境衛生は何を目的としてどんな情報が集められ、人々の生活や健康を守るためにどんな活動が行われているかを理解し、これに美容業従事者はどのように参画するかを知る。</p> <p>美容師は人に近接しかつ身体に直接接触するので客に感染症をうつしたり、うつされたりする可能性がある。それを防止するための基礎知識を得る。</p>							
【使用教材】							
<p>教科書：衛生管理（2026年4月 日本理容美容教育センター発行 第4版）</p> <p>授業プリント：スライドの印刷物</p> <p>参考：美容師国家試験に出題された衛生管理（公衆衛生、感染症）の過去問（Webトレーニング）</p>							
【成績評価】							
期末テスト	60%	100点法 による 評価	点数	評価	GPA	単位	認定
中間テスト	20%		90～100点	A	4	認定不可	
小テストまたは課題	20%		80～89点	B	3		
各授業の最後にその日の授業内容について の小テスト（10分間程度）を行 う。			70～79点	C	2		
			60～69点	D	1		
			0～59点	E	0		
		出席不良・評価資格喪失	F	—			
※前期・後期期末テスト、中間テストが60点未満は再テストを行う							
【授業計画】							
回	日	内 容				教科書 ページ	
1・2	5月7日	（前期）公衆衛生の概要：公衆衛生の歴史、保健所の役割				8	
3・4	5月21日	保健とは：母子保健、人口統計・人口変動				21	
5・6	6月11日	成人保健・高齢者保健、寿命				25	
7	6月21日	生活習慣病と予防：がん、高血圧、糖尿病、脂質異常症				27	
8・9	7月2日	高齢者の保健と福祉：医療保険、介護保険				36	
10・11	7月9日	環境衛生とは：美容業における重要性、空気環境				44	
12・13	7月16日	室内環境、照明、温熱、衣服と住居				54	
14・15	7月30日	上水道と下水道、廃棄物処理、衛生害虫と環境保全				70	
16・17	10月22日	（後期）感染症概要、微生物の種類と特徴についての基礎知識				82	
18・19	10月29日	感染症法、感染による美容師業務の制限				87	
20・21	11月12日	病原微生物の生態：細菌、ウイルス、真菌、原虫				94	
22・23	12月3日	微生物の病原性と人体の感受性・免疫				100	
24	12月17日	中間試験の解説と復習					
25・26	1月14日	感染症発症の要因と感染症の予防；感染源・経路と対策				107	
27・18	1月28日	美容師が知っておくべき感染症				117	
29・30	2月18日	美容室における感染予防対策と感染症総括				138	

授業シラバス

令和8年4月1日作成

科目名	衛生管理	必修選択	必修	年次	2	担当教員	渡邊靖信
学科・コース	専門課程美容科	授業形態	講義	開講区分	前期・後期	時間数 単位	60 2
時間 単位							
【授業概要】 教科書を主体に重要事項をまとめたパワーポイントによる説明と、記述式ノートに重点事項を記入させ、練習問題で知識の習得度を確認する							
【授業の達成目標】 公衆衛生や感染症に関する基礎知識、器具等の消毒知識を学ぶことにより、美容師として必要な感染症の予防及び対策、使用する器具等の消毒技術等を身につける							
【使用教材】 ○教科書（社）日本理容美容教育センター） ○問題集（社）日本理容美容教育センター（ワークブック） ○ウイネット							
【成績評価】							
期末テスト	60%	100点法 による 評価	点数	評価	GPA	単位	
中間テスト	20%		90～100点	A	4	認定	
小テストまたは課題	20%		80～89点	B	3		
[学期毎に中間及び期末テストを 実施し、学期内に1回以上小テス トを行う]			70～79点	C	2		
			60～69点	D	1		
			0～59点	E	0	認定不可	
		出席不良・評価資格喪失	F	—			
※前期・後期末テスト、中間テストが60点未満は再テストを行う							
【授業計画】							
回	日	内 容			教科書・プリント等		
1～3	5月1日	感染症と人間の関わりや感染症に関する法律の内容と感染症の分類を理解させる			教科書・プリント等		
4～6	5月18日	微生物の種類とその構造及び増殖の違いを理解させる			教科書・プリント等		
7～9	5月26日	感染と発病の違いや免疫と予防接種など感染症予防に必要な知識を持たせる			教科書・プリント等		
10～12	6月1日	感染症の主な種類とその症状、感染経路及び予防対策の知識を持たせる			教科書・プリント等		
13～15	6月15日	感染症の主な種類とその症状、感染経路及び予防対策の知識を持たせる			教科書・プリント等		
16～18	6月29日	感染症の発生・流行を防ぐ方法について理解させる			教科書・プリント等		
19～21	7月6日	消毒と滅菌の違い、それぞれの詳細について理解させる			教科書・プリント等		
22～24	7月21日	美容師法に定められた消毒内容と美容師の責任を学ぶ			教科書・プリント等		
25	8月24日	美容師法に定められた消毒内容と美容師の責任を学ぶ			教科書・プリント等		
26～27	8月31日	消毒法の基本と消毒するときの注意点を理解させる			教科書・プリント等		
28～30	9月18日	紫外線、煮沸などの消毒の用途や特徴を学び必要な知識を持たせる			教科書・プリント等		
回	日	内 容			教科書・プリント等		
31～33	10月13日	紫外線、煮沸などの消毒の用途や特徴を学び必要な知識を持たせる			教科書・プリント等		
34～36	10月27日	主な消毒薬の用途や特徴を学び必要な知識を持たせる			教科書・プリント等		
37～39	11月2日	消毒薬を希釈する場合の計算や器具の使い方などを理解させる			教科書・プリント等		
40～42	11月9日	美容業務で実際に行われている用具別の消毒方法に必要な知識を持たせる			教科書・プリント等		
43～45	11月16日	美容業務で実際に行われている用具別の消毒方法に必要な知識を持たせる			教科書・プリント等		
46～48	11月30日	衛生管理要領の内容を、具体的な事例を踏まえて学び理解させる			教科書・プリント等		
49～51	12月17日	衛生管理要領の内容を、具体的な事例を踏まえて学び理解させる			教科書・プリント等		
52～54	12月12日	公衆衛生及び環境衛生関係の重要事項を再確認して知識習得度を高める			教科書・プリント等		
55～57	1月18日	感染症関係の重要事項を再確認して知識習得度を高める			教科書・プリント等		
58～60	2月16日	衛生管理技術関係の重要事項を再確認して知識習得度を高める			教科書・プリント等		

授業シラバス

2026年 4月 10日作成

科目名	保健	必修選択	必修	年次	2	担当教員	関 加奈子
学科・コース	専門課程美容科	授業形態	講義	開講区分	前期・後期	時間数 単位	60 2 時間 単位

【授業概要】

- 1.教科書に沿った講義形式で行う。
- 2.教科書のほか、プリント・別途資料を踏まえ、理解を深める。
- 3.国家試験に必要な知識の習得のために、繰り返しの質疑応答と確認テストにより知識の定着を図る。

【授業の達成目標】

- 1.美容師として必要な皮膚・皮膚付属器官の知識を習得する。
- 2.美容技術と皮膚・皮膚付属器官の関連性を説明できる。
- 3.国家試験に必要な知識を有し、設問に対する柔軟な対応力を身につける。

【使用教材】

- 1.(社)日本理容美容教育センター教科書 保健
- 2.(社)日本理容美容教育センター教科書 ワークブック
- 3.webトレーニング

4.人体模型

【成績評価】

期末テスト	60%
中間テスト	20%
小テストまたは課題	20%

学期内(復習テストは対象外とする)で行われた小テストの合計を満点とし、6割未満のものはレポート提出とする

	点数	評価	GPA	単位
100点法による評価	90~100点	A	4	認定
	80~89点	B	3	
	70~79点	C	2	
	60~69点	D	1	
	0~59点	E	0	認定不可
	出席不良・評価資格喪失	F	—	

※前期・後期期末テスト、中間テストが60点未満は再テストを行う

【授業計画】

回	日	内 容	教科書・プリント等
31~33	5月1日	第1編：復習 第2編 第1章:皮膚の構造1	P70~75
34	5月8日	第1章：皮膚の構造2 (小テスト1)	P75~79
35~36	5月15日	第2章：皮膚付属器官の構造1	P80~85
37~38	5月29日	第2章：皮膚付属器官の構造2 (小テスト2) 第3章：皮膚の循環器系と神経系 (小テスト3)	P86~93
39~41	6月12日	第4章：皮膚と皮膚付属器官の生理機能 (小テスト4)	P94~105
42~44	6月19日	第1章~4章まとめ	P70~105
45~47	7月10日	中間テスト見直し 第5章：皮膚と皮膚付属器官の保健1	中間テスト P106~115
48~50	7月17日	第5章：皮膚と皮膚付属器官の保健2	P115~123
51	7月24日	第5章：皮膚と皮膚付属器官の保健3 (小テスト5)	P123~127
52~54	8月28日	第1章~5章まとめ	P70~127
55~57	9月4日	期末テスト見直し 第6章：皮膚と皮膚付属器官の疾患1	期末テスト P128~131
58~60	9月11日	第6章：皮膚と皮膚付属器官の疾患2 (小テスト6)	P131~148
61~63	10月2日	第6章：皮膚と皮膚付属器官の疾患3 (小テスト7)	P148~155
64~66	10月16日	第6章：皮膚と皮膚付属器官の疾患4 (小テスト8)	P156~165
67~68	10月30日	第6章：皮膚と皮膚付属器官の疾患5 (小テスト9)	P165~175
69~71	11月6日	第6章まとめ	P128~175
72~73	11月13日	復習1:体表解剖学、骨格器系 (復習テスト)	P10~25
74~76	11月20日	中間テスト見直し 復習：筋系、神経系、感覚器系 (復習テスト)	P26~43
77~79	11月27日	復習2:血液と免疫系、循環器系 (復習テスト)	P44~55
80~82	12月18日	復習3：呼吸器系、消化器系 (復習テスト)	P56~69
83~85	1月15日	復習4：皮膚の構造、皮膚付属器官の構造、生理機能 (復習テスト)	P70~105
86~87	1月22日	復習5：皮膚と皮膚付属器官の保健 (復習テスト)	P106~127
88~90	2月12日	復習6：皮膚と皮膚付属器官の疾患 (復習テスト)	P128~175
	2月19日	国試対策	

授業シラバス

2026年 4月 1日作成

科目名	香粧品化学	必修選択	必修	年次	1年生	担当教員	野々村 誠一		
学科・コース	専門課程美容科	授業形態	講義	開講区分	前期・後期	時間数	1年次	30時間	
						単位	2年間60時間	2単位	
【授業概要】									
<p>過去問題を重点とした学習で理解を深める</p> <p>シラバスの流れを頭に描き、到達目標を確認して効果を高める</p> <p>シラバスを中心に不足しているところ、重要なところを見出し参考にする</p>									
【授業の達成目標】									
<p>香粧品化学 美容分野に欠かせない香粧品化学の知識を身に付ける</p> <p>その他 美容師国家試験に向けて実践的な力を身に付ける</p>									
【使用教材】									
<p>教科書 (社) 日本理美容教育センター ①香粧品化学 ②ワークブック</p> <p>問題集 JHEC (日本美容教育委員会) 編 合格対策&模擬問題集</p> <p>その他 美容師国家試験過去問題</p>									
【成績評価】									
			点数	評価	GPA	単位			
期末テスト	60%	100点法 による 評価	90~100点	A	4	認定			
中間テスト	20%		80~89点	B	3				
小テストまたは課題	20%		70~79点	C	2				
			60~69点	D	1				
[提出物・出席・態度等を勘案する]			0~59点	E	0	認定不可			
			出席不良・評価資格喪失	F	—				
※前期・後期期末テスト、中間テストが60点未満は再テストを行う									
【授業計画】									
回	単元	内 容							
3	概論	品質特性と機能・安全性・安定性等						教科書・ 問題集・ プリント等	
5	原料	配合成分の役割と適切な使用方法							
2	基礎香粧品	使用目的・用法・効果効能							
2	メイクアップ	香粧品の使用目的・使用部位と材料							
5	頭皮・毛髪	ーマ・ヘアカラー・スタイリング・頭皮のケア等							
2	芳香・特殊	芳香製品・サンケア製品等							
3	テスト	テスト・事後							
3	まとめ	第1編							
1	第1編	演習問題							
3	まとめ	第2編							
1	第2編	演習問題							
合計 = 30回									

授業シラバス

2026年4月1日作成

科目名	化粧品化学	必修選択	必修	年次	2年生	担当教員	野々村 誠一	
学科・コース	専門課程美容科	授業形態	講義	開講区分	前期・後期	時間数	2年次	30時間
						単位	2年間60時間	2単位

【授業概要】

過去問題を重点とした学習で理解を深める
 シラバスの流れを頭に描き、到達目標を確認して効果を高める
 シラバスを中心に不足しているところ、重要なところを見出し参考にする

【授業の達成目標】

化粧品化学 美容分野に欠かせない化粧品化学の知識を身に付ける
 その他 美容師国家試験に向けて実践的な力を身に付ける

【使用教材】

教科書 (社) 日本理美容教育センター ①化粧品化学 ②ワークブック
 問題集 JHEC (日本美容教育委員会) 編 合格対策 & 模擬問題集
 その他 美容師国家試験過去問題

【成績評価】

		点数	評価	GPA	単位
期末テスト	60%	90~100点	A	4	認定
中間テスト	20%	80~89点	B	3	
小テストまたは課題	20%	70~79点	C	2	
		60~69点	D	1	
[提出物・出席・態度等を勘案する]		0~59点	E	0	認定不可
		出席不良・評価資格喪失	F	—	

※前期・後期期末テスト、中間テストが60点未満は再テストを行う

【授業計画】

回	単元	内 容	
2	概論	品質特性と機能・安全性・安定性等	教科書・ 問題集・ プリント等
3	原料	配合成分の役割と適切な使用方法	
1	基礎化粧品	使用目的・用法・効果効能	
1	メイクアップ	化粧品の使用目的・使用部位と材料	
3	頭皮・毛髪	パーマ・ヘアカラー・スタイリング・頭皮のケア等	
1	芳香・特殊	芳香製品・サンケア製品等	
4	テスト	テスト・事後	
2	概論	復習と演習問題	
4	原料	復習と演習問題	
1	基礎化粧品	復習と演習問題	
1	メイクアップ	復習と演習問題	
4	頭皮・毛髪	復習と演習問題	
1	芳香・特殊	復習と演習問題	
2	まとめ	第1編・第2編	
3	国試対策	過去問題等	

合計 = 33回

授業シラバス

R8年 4月 6日作成

科目名	文化論	必修選択	必修	年次	1・2	担当教員	堀 可奈恵																																																																
学科・コース	専門課程美容科	授業形態	講義	開講区分	前期・後期	時間数	60時間																																																																
						単位	2単位																																																																
【授業概要】 我が国及び海外における美容ファッションの変遷、流行の心理・影響・意義と役割について学ぶ。																																																																							
【授業の達成目標】 美容文化の歴史及び沿革について理解し、服飾の原理・意義・歴史のあらまし、衣服の種類エチケットなどについて理解する。																																																																							
【使用教材】 (教科書) ・ (社) 日本理美容教育センター 文化論 (問題集) ・ (社) 日本理美容教育センター ワークブック (その他) ・ プリント、視聴覚教材																																																																							
【成績評価】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 15%;">点数</th> <th style="width: 10%;">評価</th> <th style="width: 10%;">GPA</th> <th style="width: 10%;">単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>期末テスト</td> <td>60%</td> <td rowspan="6" style="text-align: center; vertical-align: middle;">100点法 による 評価</td> <td>90～100点</td> <td>A</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>中間テスト</td> <td>20%</td> <td>80～89点</td> <td>B</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>小テストまたは課題</td> <td>20%</td> <td>70～79点</td> <td>C</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">[</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">小テスト</td> <td>60～69点</td> <td>D</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>0～59点</td> <td>E</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>出席不良・評価資格喪失</td> <td>F</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td style="text-align: center;">認定</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td style="text-align: center;">認定不可</td> </tr> </tbody> </table>										点数	評価	GPA	単位	期末テスト	60%	100点法 による 評価	90～100点	A	4	中間テスト	20%	80～89点	B	3	小テストまたは課題	20%	70～79点	C	2	[小テスト	60～69点	D	1	0～59点	E	0	出席不良・評価資格喪失	F	—						認定						認定不可																			
		点数	評価	GPA	単位																																																																		
期末テスト	60%	100点法 による 評価	90～100点	A	4																																																																		
中間テスト	20%		80～89点	B	3																																																																		
小テストまたは課題	20%		70～79点	C	2																																																																		
[小テスト		60～69点	D	1																																																																		
			0～59点	E	0																																																																		
			出席不良・評価資格喪失	F	—																																																																		
					認定																																																																		
					認定不可																																																																		
※前期・後期期末テスト、中間テストが60点未満は再テストを行う																																																																							
【授業計画】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日</th> <th>内 容</th> <th>教科書・プリント等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td>OR,総論</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td>理容業・美容業の発生</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td>江戸時代の理容業・美容業</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td>江戸時代および近代の髪型概観</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td>近代の理容業・美容業</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td></td><td>現代の理容業・美容業</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td></td><td>縄文・弥生・古墳時代</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td></td><td>古代 (奈良・飛鳥・平安時代)</td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td></td><td>中世 (平安末期・鎌倉・室町・戦国時代)</td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td></td><td>近世Ⅰ (戦国末期・安土桃山時代)</td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td></td><td>近世Ⅱ (江戸時代・男性髪型)</td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td></td><td>近世Ⅱ (江戸時代・女性髪型)</td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td></td><td>近世Ⅱ (江戸時代・化粧、服装)</td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td></td><td>前期まとめ</td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td></td><td>テスト事後指導</td><td></td></tr> </tbody> </table>								回	日	内 容	教科書・プリント等	1		OR,総論		2		理容業・美容業の発生		3		江戸時代の理容業・美容業		4		江戸時代および近代の髪型概観		5		近代の理容業・美容業		6		現代の理容業・美容業		7		縄文・弥生・古墳時代		8		古代 (奈良・飛鳥・平安時代)		9		中世 (平安末期・鎌倉・室町・戦国時代)		10		近世Ⅰ (戦国末期・安土桃山時代)		11		近世Ⅱ (江戸時代・男性髪型)		12		近世Ⅱ (江戸時代・女性髪型)		13		近世Ⅱ (江戸時代・化粧、服装)		14		前期まとめ		15		テスト事後指導	
回	日	内 容	教科書・プリント等																																																																				
1		OR,総論																																																																					
2		理容業・美容業の発生																																																																					
3		江戸時代の理容業・美容業																																																																					
4		江戸時代および近代の髪型概観																																																																					
5		近代の理容業・美容業																																																																					
6		現代の理容業・美容業																																																																					
7		縄文・弥生・古墳時代																																																																					
8		古代 (奈良・飛鳥・平安時代)																																																																					
9		中世 (平安末期・鎌倉・室町・戦国時代)																																																																					
10		近世Ⅰ (戦国末期・安土桃山時代)																																																																					
11		近世Ⅱ (江戸時代・男性髪型)																																																																					
12		近世Ⅱ (江戸時代・女性髪型)																																																																					
13		近世Ⅱ (江戸時代・化粧、服装)																																																																					
14		前期まとめ																																																																					
15		テスト事後指導																																																																					

【授業計画】 (1年次・後期)

回	日	内 容	教科書・ プリント等
16		前期おさらい	
17		近代(明治・髪型)	
18		近代(明治・化粧、服装)	
19		近代(大正)	
20		近代(昭和～20年まで)	
21		現代Ⅰ(1945年～1950年代)	
22		現代Ⅱ(1960～70年代・髪型)	
23		現代Ⅱ(1960～70年代・服装)	
24		現代Ⅲ(1980年代・髪型)	
25		現代Ⅲ(1980年代・服装)	
26		現代Ⅳ(1990年代)	
27		現代Ⅴ(2000年代以降)	
28		縄文時代～江戸時代 まとめ	
29		後期まとめ	
30		テスト事後指導	

(2年次・前期)

回	日	内 容	教科書・ プリント等
1		OR,概観	
2		1年おさらい	
3		古代エジプト	
4		古代ギリシア・ローマ	
5		古代ゲルマン	
6		中世ヨーロッパ(髪型)	
7		中世ヨーロッパ(服装)	
8		近世Ⅰ(16世紀)	
9		近世Ⅱ(17世紀)	
10		近世Ⅲ(18世紀)	
11		近代Ⅰ(18世紀末～19世紀初め)	
12		近代Ⅱ(19世紀・男性)	
13		近代Ⅱ(19世紀・女性)	
14		前期まとめ	
15		テスト事後指導	

(2年次・後期)

回	日	内 容	教科書・ プリント等
16		西洋ファッション史・古代エジプト～19世紀 おさらい	
17		現代Ⅰ(1910年代～1920年代)	
18		現代Ⅱ(1930年代～1940年代前半)	
19		現代Ⅲ(1940年代後半～1950年代)	
20		現代Ⅳ(1960年代)	
21		現代Ⅴ(1970年代)	
22		現代Ⅵ(1980年代)	
23		現代Ⅶ(1990年代～2010年)	
24		西洋現代まとめ	
25		礼装の種類・和装(花嫁式服)	
26		礼装の種類・和装(礼装)	
27		礼装の種類・洋装	
28		礼装の種類まとめ	
29		後期まとめ	
30		テスト事後指導	

授業シラバス

2026年3月27日作成

科目名	美容技術理論 1	必修選択	必須	年次	1	担当教員	渡邊映美																																																																																
学科・コース	専門課程	授業形態	講義	開講区分	前期 後期	時間数	90時間																																																																																
						単位	3																																																																																
【授業概要】 美容技術に必要な理論的知識（衛生・名称・毛髪・技術理論など）を体系的に学ぶ。 国家試験対策を視野に入れつつ、実際の現場でも活用できる知識の定着を目指す。 講義中心としながらも、確認の為にクイズやディスカッション、グループワークなどを行い、理解を深める。																																																																																							
【授業の達成目標】 ・パーマ、カラー等の薬剤作用を理論的に理解でき、説明が出来る ・道具の衛生管理、具体的方法などを説明できる ・美容技術を理論に基づいて考察できる ・国家試験レベルの基礎問題を解答できる																																																																																							
【使用教材】 (社) 日本理容美容教育センター ①美容技術理論Ⅰ ②美容技術理論Ⅱ ①美容師国家試験の過去問題集 ②ワークブック 美容機器・器具・用具																																																																																							
【成績評価】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>点数</th> <th>評価</th> <th>GPA</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>期末テスト</td> <td>60%</td> <td>90～100点</td> <td>A</td> <td>4</td> <td rowspan="4">単位認定</td> </tr> <tr> <td>中間テスト</td> <td>20%</td> <td>80～89点</td> <td>B</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>小テストまたは課題</td> <td>20%</td> <td>70～79点</td> <td>C</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>60～69点</td> <td>D</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> [年4回 中間・期末前に 小テスト実施] </td> <td>0～59点</td> <td>E</td> <td>0</td> <td>単位認定</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 期末テスト60点未満は再テストとする </td> <td>出席不良・評価資格喪失</td> <td>F</td> <td></td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table>										点数	評価	GPA		期末テスト	60%	90～100点	A	4	単位認定	中間テスト	20%	80～89点	B	3	小テストまたは課題	20%	70～79点	C	2			60～69点	D	1	[年4回 中間・期末前に 小テスト実施]		0～59点	E	0	単位認定	期末テスト60点未満は再テストとする		出席不良・評価資格喪失	F		不可																																									
		点数	評価	GPA																																																																																			
期末テスト	60%	90～100点	A	4	単位認定																																																																																		
中間テスト	20%	80～89点	B	3																																																																																			
小テストまたは課題	20%	70～79点	C	2																																																																																			
		60～69点	D	1																																																																																			
[年4回 中間・期末前に 小テスト実施]		0～59点	E	0	単位認定																																																																																		
期末テスト60点未満は再テストとする		出席不良・評価資格喪失	F		不可																																																																																		
【授業計画】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> <th>教科書</th> <th>プリント</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1～8</td> <td>作業姿勢・人体各部の名称 美容用具 正しい取り扱いと衛生管理、名称・種類・用途</td> <td>P7～14 P17～35</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>確認チェック</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10～19</td> <td>ヘアカッティング ベースカットの考え方、角度の長さの関係 シザーズとレザーカットの違い</td> <td>P89～121</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>確認チェック</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>21～27</td> <td>ヘアデザイン シルエット、バランス、デザインの基本概念</td> <td>P67～88</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>確認チェック</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>29～38</td> <td>ヘアカラーリング 色彩理論、染料の仕組み、毛髪の構造、明度・彩度</td> <td>P221～243</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>39</td> <td>確認チェック</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>40～45</td> <td>前期まとめ グループワーク・テスト・クイズなど</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>46～55</td> <td>パーマメントウェーブ 還元・酸化の仕組み、薬剤の種類、ウェーブ形状の原理</td> <td>P129～150</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>56</td> <td>確認チェック</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>57～70</td> <td>ヘアセッティング 毛髪の形状と仕組み、ウェーブ・カール理論 ブロー・アイロン理論</td> <td>p 151～186 p 187～220</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>71</td> <td>確認チェック</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>72～78</td> <td>シャンプー 毛髪と頭皮の基礎、シャンプー剤・トリートメントの役割</td> <td>P38～65</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>79～90</td> <td>後期まとめ グループワーク・テスト・クイズなど</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								回	内容	教科書	プリント	備考	1～8	作業姿勢・人体各部の名称 美容用具 正しい取り扱いと衛生管理、名称・種類・用途	P7～14 P17～35			9	確認チェック				10～19	ヘアカッティング ベースカットの考え方、角度の長さの関係 シザーズとレザーカットの違い	P89～121			20	確認チェック				21～27	ヘアデザイン シルエット、バランス、デザインの基本概念	P67～88			28	確認チェック				29～38	ヘアカラーリング 色彩理論、染料の仕組み、毛髪の構造、明度・彩度	P221～243			39	確認チェック				40～45	前期まとめ グループワーク・テスト・クイズなど				46～55	パーマメントウェーブ 還元・酸化の仕組み、薬剤の種類、ウェーブ形状の原理	P129～150			56	確認チェック				57～70	ヘアセッティング 毛髪の形状と仕組み、ウェーブ・カール理論 ブロー・アイロン理論	p 151～186 p 187～220			71	確認チェック				72～78	シャンプー 毛髪と頭皮の基礎、シャンプー剤・トリートメントの役割	P38～65			79～90	後期まとめ グループワーク・テスト・クイズなど			
回	内容	教科書	プリント	備考																																																																																			
1～8	作業姿勢・人体各部の名称 美容用具 正しい取り扱いと衛生管理、名称・種類・用途	P7～14 P17～35																																																																																					
9	確認チェック																																																																																						
10～19	ヘアカッティング ベースカットの考え方、角度の長さの関係 シザーズとレザーカットの違い	P89～121																																																																																					
20	確認チェック																																																																																						
21～27	ヘアデザイン シルエット、バランス、デザインの基本概念	P67～88																																																																																					
28	確認チェック																																																																																						
29～38	ヘアカラーリング 色彩理論、染料の仕組み、毛髪の構造、明度・彩度	P221～243																																																																																					
39	確認チェック																																																																																						
40～45	前期まとめ グループワーク・テスト・クイズなど																																																																																						
46～55	パーマメントウェーブ 還元・酸化の仕組み、薬剤の種類、ウェーブ形状の原理	P129～150																																																																																					
56	確認チェック																																																																																						
57～70	ヘアセッティング 毛髪の形状と仕組み、ウェーブ・カール理論 ブロー・アイロン理論	p 151～186 p 187～220																																																																																					
71	確認チェック																																																																																						
72～78	シャンプー 毛髪と頭皮の基礎、シャンプー剤・トリートメントの役割	P38～65																																																																																					
79～90	後期まとめ グループワーク・テスト・クイズなど																																																																																						

授業シラバス

2026年3月27日作成

科目名	美容実習	必修選択	必須	年次	1	担当教員	渡邊映美																																																																	
学科・コース	専門課程	授業形態	実習	開講区分	前期 後期	時間数	420																																																																	
						単位	14																																																																	
【授業概要】 美容の基礎技術から応用技術までを段階的に取得する。 ワインディングを中心に国家試験に対応出来る技術力を身につけていく。 カット、カラーリング、パーマネントウェーブ、ヘアセッティングなどスタイルづくりを行い、理論と連動しながら実践力も高めていく。																																																																								
【授業の達成目標】 ・基本技術を正確かつ安全に実施できる ・技術の意図と理論を説明できる ・時間内に施術を行える（スピード意識） ・基本的なデザインが提案できる																																																																								
【使用教材】 (社) 日本理容美容教育センター ①美容実習Ⅰ ②美容実習Ⅱ ③美容技術理論Ⅰ (財) 理容師美容師試験研修センター 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 美容機器・器具・用具																																																																								
【成績評価】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>点数</th> <th>評価</th> <th>GPA</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>期末テスト</td> <td>60%</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">100点法 による 評価</td> <td>90～100点</td> <td>A</td> <td>4</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">単位認定</td> </tr> <tr> <td>中間テスト</td> <td>20%</td> <td>80～89点</td> <td>B</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>小テストまたは課題</td> <td>20%</td> <td>70～79点</td> <td>C</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>前期：ブロッキング、一束結び</td> <td></td> <td>60～69点</td> <td>D</td> <td>1</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">単位認定</td> </tr> <tr> <td>ほかに受けている企業はありますか？</td> <td></td> <td>0～59点</td> <td>E</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>期末テスト60点未満は再テストとする</td> <td></td> <td>出席不良・評価資格喪失</td> <td>F</td> <td></td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table>										点数	評価	GPA		期末テスト	60%	100点法 による 評価	90～100点	A	4	単位認定	中間テスト	20%	80～89点	B	3	小テストまたは課題	20%	70～79点	C	2	前期：ブロッキング、一束結び		60～69点	D	1	単位認定	ほかに受けている企業はありますか？		0～59点	E	0	期末テスト60点未満は再テストとする		出席不良・評価資格喪失	F		不可																									
		点数	評価	GPA																																																																				
期末テスト	60%	100点法 による 評価	90～100点	A	4	単位認定																																																																		
中間テスト	20%		80～89点	B	3																																																																			
小テストまたは課題	20%		70～79点	C	2																																																																			
前期：ブロッキング、一束結び			60～69点	D	1	単位認定																																																																		
ほかに受けている企業はありますか？			0～59点	E	0																																																																			
期末テスト60点未満は再テストとする		出席不良・評価資格喪失	F		不可																																																																			
【授業計画】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> <th>教科書</th> <th>プリント</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1～15</td> <td>道具の名称、扱い方、正しい衛生管理</td> <td>理論</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>16～45</td> <td>基本操作 ブロッキング徹底練習</td> <td>理論・実習</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>46～106</td> <td>ワインディング (オールパーパス巻き)</td> <td>技術の解説</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>107～137</td> <td>ベーシックカット (ワンレングス・グラデーション、レイヤー)</td> <td>理論・実習</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>138～158</td> <td>スタイルカット 簡単なスタイル作り</td> <td></td> <td>プリント</td> <td></td> </tr> <tr> <td>159～179</td> <td>ブロー、アイロン操作、スタイリング</td> <td>理論・実習</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>180～230</td> <td>ヘアアレンジ、ヘアセッティング</td> <td>実習</td> <td>プリント</td> <td></td> </tr> <tr> <td>231～300</td> <td>ワインディング (デザイン巻き)</td> <td>技術の解説</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>301～335</td> <td>スタイル作り、展開図作成</td> <td></td> <td>プリント</td> <td></td> </tr> <tr> <td>336～356</td> <td>シャンプー 声掛け、基本手順</td> <td>実習</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>357～387</td> <td>カラーリング、トリートメント技術 塗布練習</td> <td>実習・理論</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>388～420</td> <td>1年次まとめ、セიმレングスカット、ウェーブの基礎</td> <td>実習・理論</td> <td>プリント</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								回	内容	教科書	プリント	備考	1～15	道具の名称、扱い方、正しい衛生管理	理論			16～45	基本操作 ブロッキング徹底練習	理論・実習			46～106	ワインディング (オールパーパス巻き)	技術の解説			107～137	ベーシックカット (ワンレングス・グラデーション、レイヤー)	理論・実習			138～158	スタイルカット 簡単なスタイル作り		プリント		159～179	ブロー、アイロン操作、スタイリング	理論・実習			180～230	ヘアアレンジ、ヘアセッティング	実習	プリント		231～300	ワインディング (デザイン巻き)	技術の解説			301～335	スタイル作り、展開図作成		プリント		336～356	シャンプー 声掛け、基本手順	実習			357～387	カラーリング、トリートメント技術 塗布練習	実習・理論			388～420	1年次まとめ、セიმレングスカット、ウェーブの基礎	実習・理論	プリント	
回	内容	教科書	プリント	備考																																																																				
1～15	道具の名称、扱い方、正しい衛生管理	理論																																																																						
16～45	基本操作 ブロッキング徹底練習	理論・実習																																																																						
46～106	ワインディング (オールパーパス巻き)	技術の解説																																																																						
107～137	ベーシックカット (ワンレングス・グラデーション、レイヤー)	理論・実習																																																																						
138～158	スタイルカット 簡単なスタイル作り		プリント																																																																					
159～179	ブロー、アイロン操作、スタイリング	理論・実習																																																																						
180～230	ヘアアレンジ、ヘアセッティング	実習	プリント																																																																					
231～300	ワインディング (デザイン巻き)	技術の解説																																																																						
301～335	スタイル作り、展開図作成		プリント																																																																					
336～356	シャンプー 声掛け、基本手順	実習																																																																						
357～387	カラーリング、トリートメント技術 塗布練習	実習・理論																																																																						
388～420	1年次まとめ、セიმレングスカット、ウェーブの基礎	実習・理論	プリント																																																																					

授業シラバス

2026年4月1日作成

科目名	美容実習	必修選択	必修	年次	2年次	担当教員	桐山礼子 伊藤裕美
学科・コース	専門課程美容科	授業形態	講義	開講区分	前期・後期	時間数	480 時間
						単位	16 単位

【授業概要】

- ①美容業務を安全かつ効果的に実施する技術を学ぶ
- ②美容所における衛生管理の適切な実施方法を学ぶ
- ③美容師国家試験合格のための技術や方法を学ぶ

【授業の達成目標】

- ・美容師の基本的な技術ができるようになる
- ・衛生的に技術を行うための知識と技術がある
- ・美容師国家試験の実技試験を衛生を含め合格できる手順と技術を修得している

【使用教材】

(社)日本理容美容教育センター 『美容実習Ⅰ』『美容実習Ⅱ』

(財)理容師美容師試験研修センター 『改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説』

美容機器・器具・用具・技術動画・パワーポイント

【成績評価】

		点数	評価	GPA	単位
期末テスト	60%	90～100点	A	4	認定
中間テスト	20%	80～89点	B	3	
小テストまたは課題	20%	70～79点	C	2	
[前期後期2回ずつ実技の習得度小テストを行う]		60～69点	D	1	
		0～59点	E	0	
		出席不良・評価資格喪失	F	—	認定不可

※前期・後期期末テスト、中間テストが60点未満は再テストを行う

【授業計画】

回	内 容
60時間	カラー（ブリーチ、酸化染毛剤等を使用したカラーの基本的技術と応用）
30時間	シャンプー、トリートメント、スパ（サロンですぐに活用できる技術力をつける）
60時間	オールウエーブセッティング（国家試験の技術を学ぶ）
60時間	カット（基礎を学び、デザインできる力をつける）
60時間	ワインディング（ワインディングのバリエーション、大会・国家試験の技術を学ぶ）
60時間	ヘアアレンジ（アレンジの基礎技術～サロンで使える技術を学ぶ）
60時間	クリエイティブ（美容の技術を使用し、自分の世界観を表現する）
90時間	国家試験対策

授業シラバス

科目名	メイク検定	必修選択		年次	1年	担当教員	平松眞治																																							
学科・コース	専門課程美容科	授業形態	実技	開講区分	後期	時間数	20h																																							
						単位	2																																							
【授業概要】 最初はウィッグを使用しての基本的な手技手順をおぼえる 次に毎回相モデルを代えながら手技手順を習得する また毎回する相モデルの顔の形や各パーツ、骨格を把握する目を養います																																														
【授業の達成目標】 ①公式テキストに沿って基本から応用までを習得し、相手に対して違和感なく綺麗に仕上げる ②肌に触れる指の感覚やブラシの扱い方を習得する																																														
【使用教材】 メイク道具一式、JMA公式3級、2級検定テキスト																																														
【成績評価】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>点数</th> <th>評価</th> <th>GPA</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>期末テスト</td> <td>60%</td> <td>90～100点</td> <td>A</td> <td>4</td> <td rowspan="4">単位認定</td> </tr> <tr> <td>中間テスト</td> <td>20%</td> <td>80～89点</td> <td>B</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>小テストまたは課題</td> <td>20%</td> <td>70～79点</td> <td>C</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>60～69点</td> <td>D</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>期末テスト60点未満は再テストとする</td> <td></td> <td>0～59点</td> <td>E</td> <td>0</td> <td>単位認定不可</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>出席不良・評価資格喪失</td> <td>F</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										点数	評価	GPA		期末テスト	60%	90～100点	A	4	単位認定	中間テスト	20%	80～89点	B	3	小テストまたは課題	20%	70～79点	C	2			60～69点	D	1	期末テスト60点未満は再テストとする		0～59点	E	0	単位認定不可			出席不良・評価資格喪失	F		
		点数	評価	GPA																																										
期末テスト	60%	90～100点	A	4	単位認定																																									
中間テスト	20%	80～89点	B	3																																										
小テストまたは課題	20%	70～79点	C	2																																										
		60～69点	D	1																																										
期末テスト60点未満は再テストとする		0～59点	E	0	単位認定不可																																									
		出席不良・評価資格喪失	F																																											
【授業計画】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>時間</th> <th>内容</th> <th>教科書</th> <th>プリント</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1～3</td> <td>2級の流れ、テーブルセッティングの確認</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4～6</td> <td>相モデル2級実技の手順手技のクレンジングから下地クリームまで習得</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7～9</td> <td>相モデルで2級実技の手順手技の復讐、ポイントメイクまで</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10～13</td> <td>相モデルで2級実技の手技手順を確認しながらトータルメイクの習得</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>14～16</td> <td>手順を確認しながらトータルメイクの習得</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>17～20</td> <td>時間を測って2級実技をする</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								時間	内容	教科書	プリント	備考	1～3	2級の流れ、テーブルセッティングの確認				4～6	相モデル2級実技の手順手技のクレンジングから下地クリームまで習得				7～9	相モデルで2級実技の手順手技の復讐、ポイントメイクまで				10～13	相モデルで2級実技の手技手順を確認しながらトータルメイクの習得				14～16	手順を確認しながらトータルメイクの習得				17～20	時間を測って2級実技をする							
時間	内容	教科書	プリント	備考																																										
1～3	2級の流れ、テーブルセッティングの確認																																													
4～6	相モデル2級実技の手順手技のクレンジングから下地クリームまで習得																																													
7～9	相モデルで2級実技の手順手技の復讐、ポイントメイクまで																																													
10～13	相モデルで2級実技の手技手順を確認しながらトータルメイクの習得																																													
14～16	手順を確認しながらトータルメイクの習得																																													
17～20	時間を測って2級実技をする																																													

授業シラバス

科目名	メイク検定	必修選択		年次	1年	担当教員	平松眞治
学科・ コース	専門課程美容科	授業形態	実技	開講区分	前期	時間数	20h
						単位	2

【授業概要】

最初はウィッグを使用しての基本的な手技手順をおぼえる
次に毎回相モデルを代えながら手技手順を習得する
また毎回する相モデルの顔の形や各パーツ、骨格を把握する目を養います

【授業の達成目標】

- ①公式テキストに沿って基本から応用までを習得し、相手に対して違和感なく綺麗に仕上げる
- ②肌に触れる指の感覚やブラシの扱い方を習得する

【使用教材】

メイク道具一式、JMA公式3級、2級検定テキスト

【成績評価】

		点数	評価	GPA	
期末テスト	60%	90～100点	A	4	単位認定
中間テスト	20%	80～89点	B	3	
小テストまたは課題	20%	70～79点	C	2	
		60～69点	D	1	
期末テスト60点未満は再テストとする		0～59点	E	0	単位認定不可
		出席不良・評価資格喪失	F		単位認定不可

【授業計画】

時間	内容	教科書	プリント	備考
1～3	オリエンテーション、3級2級の流れ、テーブルセッティングの確認			
4～6	ウィッグ使用で3級実技の手順手技のクレンジングから下地クリームまで習得			
7～9	ウィッグ使用で3級実技の手順手技の復讐、ハイライトチークローライトまで			
10～13	相モデルで3級実技の手技手順を確認しながらクレンジングから乳液まで習得			
14～16	復習からハイラトチークローライトまで習得			
17～20	時間を測って3級実技をする			

授業シラバス

令和8年3月19日作成

科目名	ネイル	必修選択	選択	年次	1	担当教員	伊藤 侑子
学科・コース	専門課程美容科	授業形態	講義・実習	開講区分	前期・後期	時間数	1年40 2年20(60時間)
						単位	2
【授業概要】							
<ul style="list-style-type: none"> ・ネイリストとして必要な基礎知識および基礎技術を身に付ける ・器具の適切な管理や整理整頓など、プロとしての基本姿勢を身に付ける 							
【授業の達成目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・ネイルの道具の使用方法や爪に関する知識を正しく理解し、基本的なネイルサービスの技術を身につける ・ネイリスト技能検定3級対応基礎力習得、ネイルペイントアートの楽しさと技術を学ぶ 							
【使用教材】							
<ul style="list-style-type: none"> ・JNAテクニカルシステム ベーシック ・ネイリスト技能検定試験 公式問題集 							
【成績評価】							
				点数	評価	GPA	
期末テスト	60%	100点法による評価		90～100点	A	4	単位認定
中間テスト	20%			80～89点	B	3	
小テストまたは課題	20%			70～79点	C	2	
				60～69点	D	1	
期末テスト60点未満は再テストとする				0～59点	E	0	単位認定
			出席不良・評価資格喪失	F			不可
【授業計画】							
回	日	内容					
1～3	6/10	1.オリエンテーション・教材説明・セッティング方法・手指消毒を覚える 2.爪の構造・カットスタイル座学 ハンド使用方法、ファイル面取り 3.ファイリングデモ後練習 宿題：ハンドにラウンド5本					
4～6	6/22	4.相モデルでファイリング練習 5.6.カラーリングデモ後シートで練習 ハンドにカラーリング 宿題：シートに赤ポリ					
7.8	6/29	7.8.アートの基本、フラワーアート デモンストレーション後 練習 宿題：シートにフラワーアート					
9～11	7/6	9.フラワーアート練習 直し 10.11.カラーリング					
12～14	7/15	12.ネイルケア、デモ 13.14.作品制作、自分の左手にプッシャー、ニッパー					
15～17	9/9	15.検定オリエンテーション 16.17相モデル、ケア練習					
18～20	9/17	18.19.20. 相モデルで通し					
21～23	10/1	21.22.23.相モデルで通し（実技テスト）					
24～26	10/23	24.25.26相モデルでタイムトライアル					
27～29	1/21	27.ジェル理論→プリント配布、28.プレパレーション、29.ベースジェル塗り分					
30.31	1/28	30カラージェル塗布、31.ジェルオフ					
32～34	2/15	32.33.ピーコックアート（基本のピーコック） 34.ハートや蝶々などの応用ピーコック					
35～37	3/5	35.ピーコック復習、36.フレンチ、37.マーブル					
38～40	3/10	38.マグネット、39.ミラー、40.アニマル柄などのトレンドアート					

授業シラバス

令和8年3月19日作成

科目名	ネイル	必修選択	選択	年次	2	担当教員	伊藤 侑子
学科・ コース	専門課程美容科	授業形態	講義・実習	開講区分	前期	時間数	1年40 2年20(60時間)
						単位	2
【授業概要】							
<ul style="list-style-type: none"> ・サロンワークを想定した基本的なジェルネイルの知識と技術を身に付ける ・器具の適切な管理や整理整頓など、プロとしての基本姿勢を身に付ける 							
【授業の達成目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・ネイルの道具の使用方法や爪に関する知識を正しく理解し、基本的なネイルサービスの技術を身につける ・ジェルネイル検定初級対応基礎力習得、ネイルペイントアートの楽しさと技術を学ぶ 							
【使用教材】							
<ul style="list-style-type: none"> ・JNAテクニカルシステム ベーシック ・ネイリスト技能検定試験 公式問題集 							
【成績評価】			点数	評価	GPA		
期末テスト	60%	100点法に よる 評価	90～100点	A	4	単位認定	
中間テスト	20%		80～89点	B	3		
小テストまたは課題	20%		70～79点	C	2		
			60～69点	D	1		
期末テスト60点未満は 再テストとする			0～59点	E	0	単位認定	
			出席不良・評価資格喪失	F		不可	
【授業計画】							
回	日	内容					
1～3	4/23	1.ジェル検定オリエンテーション 2.3. 人の手にジェルを塗る練習（はみ出し、溜まり）					
4～6	5/17	4～6トレンドネイルアート					
7～9	5/22	7～9ジェル検定通し練習					
9～11	5/26	10～12通し練習（受験生はタイムトライアル） テスト 準備5分、実技60分、休憩20分、実技60分、片付け15分					
13～15	6/4	13.検定直前対策 14.15通し練習（タイムトライアル）					
16・17	6/29	16.17トレンドネイル					
18～20	7/22	18.19.20ネイルチップ制作					

授業シラバス

令和8年4月1日作成

科目名	ブライダルI	必修選択	選択	年次	1年次	担当教員	杉山 伎以子
学科・コース	専門課程美容科	授業形態	講義	開講区分	前期・後期	時間数	30 時間
						単位	1 単位

【授業概要】

- ①ドレススタイリスト検定、ブライダルプランナー検定3級の合格を目指す
- ②ブライダルの基礎知識、技術を学ぶ

【授業の達成目標】

- ①ABP検定、ドレススタイリスト検定の合格
- ②ブライダルに関する基礎知識を習得する
- ③ブライダルにおけるヘア・メイクの基礎技術ができる

【使用教材】

- ・ The Business of Japanese Weddings / The Business of Weddings Attire & Styling (ABC協会)
- ・ ヘア・メイク道具一式

【成績評価】

	点数	評価	GPA	単位
期末テスト 60%	90～100点	A	4	認定
中間テスト 20%	80～89点	B	3	
小テストまたは課題 20%	70～79点	C	2	
	60～69点	D	1	
[]	0～59点	E	0	認定不可
	出席不良・評価資格喪失	F	—	

※前期・後期期末テスト、中間テストが60点未満は再テストを行う

【授業計画】

回	内 容	教科書・プリント等
1～6	衣裳店の市場と実務 衣裳店の種類・市場の分析	
7～9	ドレスの構造、デザイン、小物、サイズ合わせ ドレスデザインの名称・構造の特徴・小物（パール、アクセサリなど）のコーディネート	
10～12	体型別スタイリング、ヘアスタイリング 目的別スタイリングのポイント・ヘアメイク、スタイリングの理解	
13～16	ドレススタイリング検定直前対策 検定予想問題の解説と解答	
16～18	ドレススタイリング検定対策 検定予想問題の解説と模擬テストの実施	
	ドレススタイリスト検定	
19～21	ブライダルパーティー 男性洋装 洋装のフォーマルウェアについて、男性礼装について	
22～24	和装衣装 列席者の衣装 新郎・新婦の和装について、列席者別の威容の種類	
25～30	プランナー検定直前対策	
	ブライダルプランナー検定3級	